

令和4年度 第3回 京田辺市社会教育委員会議 議事（5）京田辺市の社会教育について「1 教育の質向上」に関するご意見要旨

- ・大学生、現役世代等、若い世代が関わる地域行事などが不足している。
- ・地域での活動に協力してもらう人材、特に若い世代に参画してもらいたい。そのためには、若い世代が参加しやすい地域行事など接点を増やす必要がある。
- ・レモンを使ってまちの名産品を作る、という農業委員会の企画では、同志社女子大の学生がレモンポン酢の商品化に、主体的に関わっていた。各地域において、若い世代の参加を促すためには、この企画のように自ら参加したいと思える魅力ある地域行事を行っていくことが必要。
- ・昔は、青年団等の組織がしっかりとしており、横のつながりがあり、地域行事等にも若い世代を巻き込んで行われていた。二十歳のつどい（旧成人式）なども一回切りにせず、そういうものをきっかけとして、参加者たちが地域に主体的に集まれるような仕掛けづくりをすることなども一案。
- ・教育の質向上のためには、豊富な経験や専門的な知識を持つ、地域の団塊の世代を活用していったらいいのでは。
- ・様々な人々を繋げるコーディネーターが必要。人々を巻き込んでいく力のある人が必要。ただ、誰がその役を担うのか。